



第62回TPKF大会 (2026年5月4日～6日 湘南国際村センター)

献身の証し

小浜キリスト福音教会 岸本あさ子



「なくなる食物のためではなく、いつでも保ち、永遠のいのちに至る食物のために働きなさい。それこそ、人の子があなたがたに与えるものです。」
(ヨハネ6・27)

「あなたがたは正義の種を蒔き、誠実の実を刈り入れよ。あなたがたは耕地を開拓せよ。今が、主を求める時だ。ついに、主は来て、正義をあなたがたに注がれる。」
(ホセア10・12)

今から37年前に頂いたことばです。私は全く神さまから遠く離れていた者で、イエスさまのことも知りませんでした。その私がクリスチャンになり、伝道師になるとは思ってもいなかったことでした。

ある時お出会いした方を通して教会に導かれ、イエスさまを信じ受洗の恵みにあずかりました。28歳の時でした。

神さまは、人に二度も三度も語られると聞きました。聖書にもそのように記されています。私にも思い当たることがありました。田舎で育ったので周りの自然を見て誰が造った

のかと、無知な子どもの頃にふと思ったことがあったのです。「初めに、神が天と地を創造した。」(創世記1・1)のみことばで、神がすべてを造られたことを知りました。今も神さまは働いておられることを実感しました。

自分の思いを先行させようとした時、神さまは幻をもって警告してくださいました。イエスさまというぶどうの木につながる枝であることを教えられました。聖書のみことばは真実であることを教えてくださったのです。奉仕のことも、退職後くらいにできるかなーと思っていました。仕事は辞めるわけにはいかないと考えていたのです。

(これだけしかない)との思いから(これだけでもある)との思いに神さまが心を変えてくださいました。不思議な導きを感じています。

月日は過ぎましたが、今も変わらずこの足りない者を助けてくださっています。「彼(イエス・キリスト)に信頼する者は、失望させられることがない。」(ローマ10・11)とは真実です。

熱波のパリに遭わされて

吉田 隆

2026年6月、ヨーロッパは異常気象の熱波に襲われました。連日40度を超える暑さに、欧州の死者は2000人を超えたと言われています（7/2現在）。吉田隆と恵利子は、ちょうどこの時期に、今年もパリ プロテスタント日本語教会での3カ月の牧会・伝道の働きのために遭わされました。

パリの空港へ到着したのは、現地時間の夕方6時頃でしたが、気温は37度。飛行機を降りた瞬間に熱気を感じました。パリの緯度は北緯48度、これは札幌が43度であるよりも北に位置しています。以前はエアコンがなくても夏は涼しかったのです。ところが近年の異常気象で、耐えられない暑さに見舞われています。

暑くなったのならば、エアコンを設置すればよいではないか、とおっしゃるでしょう。しかしパリでは、街の美しい景観を守るために、室外機の必要なエアコンを設置してはいけない、という法律があるのです。そこで、室内に置く扇風機や手で持つ扇風機が爆発的に売れています。私たちがステイするアパート（牧師館）のために、パリ教会の方が2台目の扇風機を買ってくださろうと、

電気屋さんを3軒回ってくださったのですが、すべて売り切れだったそうです。室外機の要らない簡易エアコンも売っていますが、入り口などから排気のための太いホースを出さなければならぬので、この方がよっぽど美観を損ねるのでは？といった、意見が出ています。

では、どのようにこの暑さに対処するかです。雨戸を日中は閉めて、日差しが入らないようにする、これしかありません。

礼拝は、古い石造の教会堂で行われるので、普段は冷んやりとしていますが、こうした暑さの中では冷房がなくても大丈夫です。しかし、家庭集会やアパートを利用した食事会などはこうした状況下では難しさを感じます。

有名なオルセー美術館なども、暑さのため突然の休館となりました。赤道直下の宣教地なら分からなくもないのですが……。



美観を重んじるパリの建物

□各グループ議長からのひとこと



T P K Fの温かい交わりと 宣教の情熱

キリスト福音教会議長 置田信也

キリスト福音教会では昨年の秋に75周年大会を持ちました。T P K Fも同じ歴史を持っています。特別な恵みと祝福によって、霊の家族としての温かい交わりが守られてきたことを、神様に感謝します。

「久しぶり、元気にしてた？」キリスト福音教会の聖会やT P K F大会では、よくこのような会話が交わされます。普段は自分の教会で礼拝を守っている兄弟姉妹たちが、いろいろな地域から集まって来ます。そして、一緒に賛美をし、神様を礼拝します。特別な講師のメッセージを通して深くみことばを学びます。これは素晴らしい体験です。

私が求道の方を聖会にお連れした時のことです。兄弟姉妹が仲良く過ごしている様子を見て、この方はとても感心され、「親戚の集まりのようですね。」と言いました。私は、「親戚ではなく家族です。イエス様を信じる人は、

みんな神の家族、霊的な家族なのです。」と答えました。すると、その方は深くうなずいてくださいました。

コロナで中断したこともありましたが、聖会やT P K F大会は大切な集まりです。これからも守っていきましょう。

温かい交わりとともにT P K Fが持ち続けてきたものがあります。宣教の情熱です。

「イエス様が十字架の御業によって罪を解決してください」という福音のメッセージは、信じる人を罪から解放し、神様の子どもへと変え、幸いな人生へと導く大きな力を持っています。人を変えるこの素晴らしい福音を、私たちは神様から委ねられました。福音を宣べ伝えていきましょう。

一つの教会だけで行うことが難しい伝道誌「ちから」の発行や、放送伝道などの活動を、これまでT P K Fの複数の教会が協力して行ってきました。そこには、「どうかして一人でも多くの方に福音を届けて行こう」という、切なる願いがありました。時代とともに宣教の方法は変わっていくかもしれませんが、ともに協力することと宣教の情熱を持ち続けていきましょう。

第62回 T P K F 大会説教要約

聖会1 「問題提起」

「はじめの愛に帰ろう」「オリジナルゴスペル」とは？
 「キリストの愛は無条件である」「救いは無条件である」と教会は高らかに宣言しているが、いざ、クリスチャンになった瞬間、「什一献金している？」「断食して祈っている？」「祈祷会に来ないの？」「何の奉仕もしてくれないの？」などの、多くの条件を押し付けられる教会生活になっていないだろうか？ 口では「神の愛は無条件である」と言っているが、何が無条件なのか私たちは分かっているのだろうか？ 口では、「恵み」とか「値なしに与えられる」とは言うものの、実際、神様から何を無条件で与えられるのか答えられるだろうか？ 何も分かっていない無知な私たち、誘惑に負けてしまう惨めな私たち、律法を守れない弱い私たち、そんな私たちをイエス・キリストはぞっこんなんだというオリジナルゴスペルとは？

聖会2 「初めの愛から離れてしまった」

(黙示録2：1～7)

「初めの愛に帰ろう」というこの言葉が、「救われた当時の、イエス様への情熱的な愛を取り戻そう」という意味合いで受け取られていないだろうか。いつの間にか神様を愛することにギアが入って、神様を愛そうと努力して、奉仕して、宣教して、そして疲れてないだろうか。黙示録2章4節の「初めの愛から離れた」で使われている言葉、「初め」の原語「プロトス」とは、「一番目に」という順番を表すだけでなく、「一番に重要」というクオリティーを表す言葉である。つまり私たちは神様を愛することから離れたのではなく、神様から愛されることを止めてしまったのである。教会にとって最も大切なメッセージは、「神を愛すること」、「神に仕えること」、「宣教すること」、ではなく、「あなたが神から愛されていること」なのである。神様を愛することに熱心すぎて神様から愛されることをやめていないか？「初めの愛から離れてしまった」、神に愛されているという真実をもう一度、教会がしっかりと握ることからオリジナルゴスペルがスタートする。

聖会3 「本当の祝福」(Iヨハネ4：10)

「あなたがたが互いに愛し合うこと、わたしはこれをあなたがたに命じます。」(ヨハネ15：17)。このイエス様の言葉の本意を知らずに、いつの間にか隣人を、妻を、夫を愛することが守るべき命令となり、愛するということが、意志力、決断力、頑張りによって実行され、自然に生まれてくるものでは無くなってしまい、やがて「愛」というテーマに閉塞感を持ってしまう。愛することが難しい、できない！となってしまふ。この「愛に行き詰まる」「愛することが難しい」に対する答えが「初めの愛」である。Iヨハネ4章10節にある、「まず神が私たちを愛してくださった」これが愛であるということを知ることが愛を知ることである。This is love! 英訳で「これこそが愛である」と言われた、神の愛、神が初めに私たちを愛してくださった！という真理に気付いた時、その応答として、呼吸のように、大胆に、自然な現れとして神を、隣人を愛せるようになる。神から無条件に、大きな愛で愛されているという体験が私たちへの愛する燃料となって、力となって大きく愛せるようになる。これこそがイエス様から与えられた祝福である。

聖会4 「仲介者イエス」(律法からの解放)

「初めの愛」とは「無条件の愛」であるはずが、なぜか教会の中でこの無条件の愛が浸透していない。それは神の愛に条件をつけている律法というものが今でも教会で語られているのである。使徒パウロが教会に宛てた手紙の中で一貫して語られた、「罪からの解放」という言葉と同じように、「律法からの解放」を宣言している。ここでパウロが言う、「律法からの解放」とはユダヤ教の律法からの解放だけではない。パウロはユダヤ人だけでなく、おもに異邦人に対して語っており、その律法とは、「神から何かしてもらいたいと思うなら、あなたがまず高い代価を払わなければならない」という考え方が私たちを縛り、神の無条件の愛に条件を加えてしまっている。それをイエス様という仲介者によって、十字架の贖いによって、律法が廃棄され、縛りから解放されたのである。

(小川祐司)

第62回 T P K F 大会の総括 大会委員長 芳三容子

神奈川県葉山町にあります湘南国際村センターにて、5月4日～6日に主の臨在とともに、とても穏やかな祝福あふれる時を過ごすことができ、心より感謝しています。三日間でユースを含めての140名と小学生以下17名の合計157名が参加されました。

オアシス牧師であられる講師の須永克巳師とアンジェラ師夫妻がいらしてくださり、「オリジナルゴスペル 初めの愛」というテーマで大会が開催されました。

参加者のお一人から「須永先生のメッセージの一つずつうなずく大会であり、全体に穏やかで優しく、心が癒やされ神の愛が流れる大会でした」と感想をいただきました。

した。また、ほかの参加者からもとても良かったとの声もいただき感謝であふれています。

ユース集会、キッズ集会ともにそれぞれ参加したユースたちも子どもたちも、とても楽しく恵まれた時を過ごせたとのことで感謝でした。

今回初めて行いましたグレースカンファレンス、各グループより女性牧師が一人ずつ立ってくださり、3名の先生方のメッセージを聞く機会が与えられ、最後に宣教のために祈ることができました。一つ一つすべて感謝しかありません。私たちの素晴らしい神に栄光がありますように！

大会報告



講師の須長克巳師

T P K F の諸教会の交わりと祝福のために毎年行われている T P K F 大会が2026年5月4日～6日、場所は神奈川県葉山町にある湘南国際村センターにて、講師は須長克巳師（オアシス）を招いて「オリジナルゴスペル」をテーマに語っていただきました。

「人間の努力、条件、義務から離れ、神の無条件の愛と十字架の完成された業に信頼する」という、イエス・キリストの福音の純粋な核心を四つのメッセージ全体からわかりやすく伝えてくださいました。

まず、ハッと気づかされたのは、私自身、知らず知らずのうちに自分自身の意志や決断力で頑張ろうとしていたことです。しかし、聖書が語る「初めの愛」とは、私たちが神を愛することではなく、「まず神が私たちを無条件に愛してくださった」という圧倒的な事実を受け取る。その時、自分の力で頑張ることをやめて、神の御前でありのままに静まり、愛で満たされることができます。

この「愛されている」という強い確信（体験）があった初めて、私たちは義務や命令からではなく、呼吸をするように自然に「互いを愛する」ことができると教えられました。

さらに無条件の愛を永遠に無条件のまま保つために、イエス・キリストは十字架において「罪」だけでなく、「何かをしなければ神から受け取れない」という人間の内なる「律法」も完全に処分してくださったこと、神様が用意された全ての祝福は、私たちが代価を払って勝ち取るものではなく、唯一の仲介者であるイエスによって、「すでに無償で完了している」ことを語られました。

須長師のメッセージだけでなく、グレースカンファレンスでは、森田千鶴子師、札幌緑師、稲葉賜子師からメッセージが語られ、ユースやキッズの集会も、楽しい歓声にあふれていました。フリータイムでも、フェロシップタイム、クラフトなど参加しておられる皆さんの顔が笑顔にあふれていました。

T P K F は神様の愛にある交わりが豊かにされていることを深く感じる事ができる大会でした。

この大会のために、祈り、ご協力、参加してくださった先生、兄姉、教会の皆様にご心から感謝いたします。

（秦野クリスチャンセンター牧師 稲葉基夫）



キッズの集会の集合写真

あかし

無条件の再確認

富士純福音キリスト教会 グレイスチャーチ 河西椎菜



今回の TPKF 大会を通して特に心に残ったのは、メッセンジャーとして来られた須永克巳先生からまっすぐ語られた“オリジナルゴスペル”でした。

私は昔から人前で自分の弱さを出すのが苦手で、息をするように“良い子の自分”を演じることが得意で、知らず知らずのうちに神様に対してまで心のどこかで「愛されよう」として、奉仕を引き受けたり、人を愛そうとして、結局は自分の足りない所ばかりに目線がいて申し訳なくなって疲れ果ててしまう悪循環の中にいました。

でも昨年まで学んでいた関西聖書学院での生活の中で、

少しずつ育っていった“十字架の血潮の完全な贖い”という土台に、『愛することが足りないじゃ無い。神様から愛されていると受け取ることが足りないのです』と先生から語られた瞬間、このどんな時も揺らぐことない無条件の愛こそ、自分が浸るべきものだったと確信しました。

今、母教会で支えさせていただく中で、来られる一人一人に関わっていく時に、共に絶えず無条件の恵みを再確認し続けていきたいです。



TPKF大会への感謝

敦賀自由キリスト教会 札幌 緑

ハレルヤ♪ 対面開催が再開して、初めての関東での大会に参加できたことを感謝いたします。予定より早く会場に入ると、担当のイーストの

方々が受付、ロビー、集会場の準備をしておられ、そこに大会への、また主への熱い期待、熱気を感じました。イーストの皆様のお祈り、おもてなしに感謝いたします。

2日目にもたれたグレイスカンファレンスでは、緊張と喜びの中でみことばをお分かちさせていただきました。そして共に立ってくださった先生方のこれまでの歩みに伴走

された主、確かな導き、愛にあふれた御手、ユーモアさえ欠かさない主のお計らいに、大いに励まされました。もっといろいろな先生方のお話が聞いてみたい！と思いました。

最後に、須長先生のオリジナルゴスペル—初めの愛—、本当に無条件の神の愛そのまま、その愛でクリスチャンが満たされ、その愛が教会にあふれているようにと、教えられチャレンジをいただきました。今日も注がれ続ける神の愛を心いっぱい受け取ります！ このすばらしい時を与えてくださった主に感謝します。

第 62 回 TPKF 大会に参加して

木幡キリスト福音教会 吉田和佳子



去る 5 月 4 日～6 日の 3 日間「オリジナルゴスペル—初めの愛—」というタイトルで、須長克巳師を通してみことばの恵みを受け取りました。

先生はヨハネの黙示録 2 章 4 節のみことばから、神様が初めに示してくださった愛、それは「無条件の愛」であつたにもかかわらず、いつのまにかそこから離れてしまい、自分に対しても人に対してもさまざまな条件をつけて、神様の愛を分からなくさせていないか、という大切な問いかけをしてくださいました。

先生ご自身の伝道、牧会生活の中で経験された問題、困難も分かち合ってください、回復する正しい道は私たちが

どれほど神様の愛を知り、受け取り、そしてその愛を流していくことであると語ってくださいました。

「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」(I ヨハネ 4:10)

私たちが神様を愛する前に、先に神様が愛してくださった、それも無条件で。この恵みを深く受け取る感謝な 3 日間となりました。

教会紹介 開成クリスチャンセンター

神奈川県足柄上郡開成町中之名 358-1 バードハイム 101

開成クリスチャンセンターは 2025 年 8 月 2 日の開所式を持ってスタートしました。

開成町（かいせいまち）は神奈川県内で一番面積が小さい町で、人口約 18700 人、開成クリスチャンセンターがスタートする前は教会が無い地域でした。未教会地域に教会開拓というビジョンをいただき、秦野クリスチャンセンターを本教会とし、荒井恵子師とともに、たくさんの教会、兄弟の祈りとサポートにより開拓中です。

定期集会：毎週日曜日 10：30 から日曜礼拝／毎週水曜日 19：00 から祈り会

月 1 回土曜日 14：00 から小学生を対象としたキッズ☆ファンファンクラブ

現在は 8 月 1 日に持たれる一周年記念イベントのためのチラシ配布と準備を進めています。

お祈りください：開成町と近隣の市町の救いのために。各定期集会と特別イベントが用いられるように。牧師二人の霊的・身体的健康のために。すべての必要が満たされるように

（芳三容子）



教会情報・働き人情報

● 訃報

サッリ・クハネン元宣教師 2026年4月22日(木) 召天。91歳。5月22日(金) フィンランドのマンティハルユ教会で葬儀、1964年～1999年小浜キリスト福音教会でご奉仕

■ イースト

○ 栄シャローム教会

新實千枝師、6月21日主任牧師就任

■ F C M F

○ 岐阜純福音教会

8月23日(日) 創立69周年記念礼拝、講師：川本泰彦師（神の家族牧師）

8月22日(土) サマーフェスティバル（近所の子どもたちと家族を対象とした伝道）

8月21日(金)～25日(火) ティラナスホールグループによる「平安の子探し伝道」（岐阜県郡上市白鳥）

○ F C M F 秋の聖会 9月20日(日)～21日(月)

テーマ：御霊によって生きる（ガラテヤ 5 章 25 節）

講師：中見透牧師（御殿場純福音キリスト教会）

会場：きらめきみなと館・敦賀市

■ K F K

○ キリスト福音教会秋季聖会 9月21日(月)

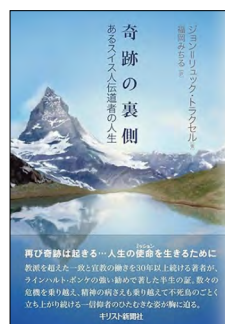
テーマ：「さあ、出かけよう」（ヨハネの福音書 15 章 6 節）

講師：李守牧師（香芝ゴスペルチャーチ）

会場：日本フィンランド学校

○ ヘンリー & ミリアム・モノネン宣教師 2026年7月フィンランドへ一時帰国、2027年1月再来日を予定

書籍紹介



奇跡の裏側

あるスイス人伝道者の人生

ジョン＝リュック・トラクセル著
福岡 みちる 訳

キリスト新聞社 2024年11月発売
定価 1,650円（本体¥1,500）

著者は、1970年生まれのスイス人で、ブレザレン派出身の伝道者。大規模回心・著しい奇跡と聖霊のバプテスマを

特徴とする集会を開催している。神癒ミニストリー国際協会 A I M G 会長。ダニエル・コレンダと共にグローバル・エバングェリスト・アライアンス共同責任者を務めている。自らが癒やしの働きをしている中で、娘が病気になり、葛藤を経験する。医学の力も認めながら、神の奇跡を体験していく証しが感動を呼ぶ。このような本がキリスト新聞社から出版されたことに拍手を送りたい。

（吉田隆）

単立ペンテコステ教会フェローシップ諸教会

北広島自由キリスト教会／平川めぐみ教会／房総中央キリスト教会／大佐和キリスト教会／町田純福音教会／鶴見純福音教会
横浜フィラデルフィア教会／磯子フィラデルフィア教会／金沢フィラデルフィア教会／横須賀クリスチャンセンター
保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル／戸塚カルバリ純福音教会／栄シャローム福音教会／伊勢原聖書キリスト教会／秦野クリスチャンセンター
開成クリスチャンセンター／北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音教会／南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会
甲府カルバリ純福音教会／ハーベスト・チャーチ山梨／裾野純福音キリスト教会／御殿場純福音キリスト教会／富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ
いのちのパンの家 湘南／小松ベタニヤ福音教会／ホープハウス／福井自由キリスト教会／ブンキョウゴスペルセンター
松岡福音教会／丸岡福音キリスト教会／勝山自由キリスト教会／The Lighthouse 749（三国）／武生自由キリスト教会
グローリーチャーチ敦賀自由キリスト教会／小浜キリスト福音教会／小浜キリスト福音教会三方伝道所／高富グレイスチャペル
岐阜純福音教会／岐阜純福音白鳥教会／岐阜ライフチャーチ／美濃グレースチャーチ／本地ヶ原自由キリスト教会
瀬戸サレム教会／グレイスインクライスト教会（大阪キリスト福音教会名古屋伝道所）／滋賀キリスト福音教会／守山キリスト福音教会
大津韓国福音教会／大津キリスト福音教会／田上キリスト教会（大津キリスト福音教会伝道所）／甲賀キリスト福音教会／水口キリスト福音教会
甲西キリスト福音教会／雲井キリスト福音教会／米原キリスト福音教会／綾部キリスト福音教会／亀岡ベタニヤ教会／京都キリスト福音教会
山科キリスト福音教会／深草キリスト福音教会／宇治キリストペンテコステ教会／木幡キリスト福音教会／京都ネットチャーチ
大阪キリスト福音教会／須磨自由キリスト教会／神戸フィラデルフィア教会／LifeShare Christian Center／南さつまキリスト福音教会
私たちの願いはすべての T P K F の信徒が 1 部ずつ持つことです。
ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。pentecost@tpkf.org

T P K F の公式ホームページ <https://tpkf.org/>

